

鹿児島工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	英語 I A
科目基礎情報						
科目番号	0013		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	機械工学科		対象学年	1		
開設期	前期		週時間数	4		
教科書/教材	〔教科書〕 Revised LANDMARK English Communication I (啓林館), 〔参考書・補助教材〕 高1 英語へのステップ (増進堂), Revised LANDMARK English Communication I Workbook standard (啓林館), 夢をかなえる英単語 新コメタン (0) (アルク), WHAT'S UP? 2016-17 Elementary (桐原書店), Zoom総合英語New Edition (第一学習社), Zoom English Grammar 27 New Edition (第一学習社), ウィズダム英和辞典(三省堂)					
担当教員	仮屋 衣里					
到達目標						
1. 語彙と文法知識 2. 聞くこと 3. 読むこと 4. 話すこと 5. 書くこと						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	体系的に理解した語彙項目や文法項目を到達目標2～5の理想的な到達レベルの中で活用することができる。		教科書や副教材に出現する語彙や文法項目の意味や構造について体系的に理解し再生できる。		教科書や副教材に出現する語彙や文法項目の意味や構造について理解することができる。	
評価項目2	より実生活に近い題材やレベルの教材の内容や意味について理解し、それについて適切な反応を行うことができる。		与えられた課題や対話などの内容や意味について理解し、それについて適切な反応を行うことができる。		授業或いは自学自習で扱われる教材の内容について理解することができる。	
評価項目3	より実生活に近い題材やレベルの教材の内容や意味について理解し、それについて適切な反応を行うことができる。		与えられた課題や文章などの内容や意味について理解し、それについて適切な反応を行うことができる。		授業或いは自学自習で扱われる教材の内容について理解することができる。	
評価項目4	より実生活に近い題材やレベルの教材の内容や意味について理解し、それについて適切な反応を口頭で行うことができる。		与えられた課題や指示に沿った内容の文または文章を口頭で発表することができる。		授業或いは自学自習で扱われる教材の内容や与えられた指示通りに音声を口頭で再生することができる。	
評価項目5	より実生活に近い題材やレベルの教材の内容や意味について理解し、それについて適切な反応を記述で行うことができる。		与えられた課題や指示に沿った内容の文または文章を書くことができる。		授業或いは自学自習で扱われる教材の内容や与えられた指示通りに語句や文を再生することができる。	
学科の到達目標項目との関係						
本科（準学士課程）の学習・教育到達目標 2-b						
教育方法等						
概要	英文を読む・書く・聞く・話すための力を伸ばす。辞書を活用して自力で英文読解や英作文ができることをめざす。英語を使った学習活動を通して社会や自分のことに目を向け、考える力をつける。					
授業の進め方・方法	後期開講の英語 I Bと共に本校での英語学習の最初の段階で修得すべき科目として位置付けている。学修すべき内容は英語 I Bへ引き継がれる。					
注意点	予習・復習を十分にを行い、語彙力・構文理解力の強化と内容理解に努めること。英語でのコミュニケーション能力向上のため授業の殆どは英語で行うので、授業中は英語でのコミュニケーションに努めること。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	辞書の使い方、語彙、聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと		辞書の特徴と使用方法について理解し、学習に役立てることができる。	
		2週	辞書の使い方、語彙、聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと		授業で扱われた語彙の意味を理解し、聞き取りや読み役に立てることができる。	
		3週	辞書の使い方、語彙、聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと		授業で扱われた語彙を使って話したり書いたりできる。	
		4週	辞書の使い方、語彙、聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと		英語を聞いて、語句や文を正しく聞き取ったり、必要な情報を得たりできる。	
		5週	辞書の使い方、語彙、聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと		まとまった量の文章を意味を捉えながら読み、必要な情報を得たり概要や要点をまとめたりすることができる。	
		6週	辞書の使い方、語彙、聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと		接続詞や代名詞を手がかりに文同士の関係を捉えて読むことができる。	
		7週	辞書の使い方、語彙、聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと		目的や状況に応じて、音読や黙読など、適切な読み方を行うことができる。	
		8週	辞書の使い方、語彙、聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと		やさしい読み物をたくさん読み、読むことの楽しさを味わうことができる。	
	2ndQ	9週	品詞と五文型		品詞と五文型の概念や用法について理解し、正しくまた適切に使用することができる。	
		10週	動名詞と不定詞		動名詞と不定詞のそれぞれの用法について理解し、正しく使用することができる。	
		11週	分詞と現在完了形		分詞と現在完了形の用法について理解し、正しく使用することができる。	
		12週	関係代名詞、S+V+ (O) +疑問詞		関係代名詞とS+V+(O)+疑問詞の用法について理解し、正しく使用することができる。	

		13週	現在完了進行形 seemの用法	現在完了形とseemの用法について理解し、正しく使用することができる。
		14週	It～thatの形式主語構文 知覚動詞の構文	It～thatの形式主語構文と知覚動詞の構文の用法について理解し、正しく使用することができる。
		15週	前期末試験	試験において達成度を確認し、間違った部分を自分の課題として把握する
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	2	
				英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。	2	
				英語の発音記号を見て、発音できる。	2	
				リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	2	
				語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。	2	
				文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。	2	
				文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。	2	
				中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	2	
				自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。	2	
				中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	2	
				高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	2	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	2	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2	

評価割合

	試験	平常点	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	70	30	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0